

熊井の森通信

発行/熊井の森トラスト基金

〒350-0314 埼玉県比企郡鳩山町
楓ヶ丘2-2-1かわせみハウス
NPO法人はとやま環境フォーラム気付
メール kawasemi3001@gmail.com

☎ 049-227-3001 (FAX兼用) ホームページ <https://hatoyama.info/>

写真学校の会場は「交流体験館」です！

今年度第2回の熊井の森写真学校
7月3日(土) 午前9時集合

午前午後と会場を予約していますので、お昼もここで食べられます。目の前に小さなコンビニあり。授業はいつものように、午前中に講座とフィールド撮影。午後には講評で3時に終了。この会場の施設管理者とはいろいろ話をしている、施設のエントランススペースに「熊井の森のフォトギャラリー」を設置できないかと相談

中です。そうなれば、当然、写真学校の参加者の皆さんの作品をお借りすることになります。三森典彰先生の作品展もぜひやらせていただきたいですね。

写真学校に初参加の方もいれば、もう5年間も参加されている方もいます。「熊井の森SATOYAMA自然学校」関連の活動に参加協力いただいている方もいます。これからもよろしく。ゆっくり長くいきましょ。ああ、早く一杯飲めるようになりたい。(愛場)



体験型「里山学」研修プログラム

熊井の森 SATOYAMA 自然学校

7月18日(日)

第2回公開講座 「里山と野鳥」 講師 上田恵介氏 (公財)日本野鳥の会会長 参加費 無料

後援/鳩山町

『ダーウィンが来た!』出演
上田恵介先生が生きもの解説

熊井の森 SATOYAMA 自然学校
熊井の森の
生きもの観察会

日時 7月18日(日)
開会 11:30 開演 9:00 終了 11:30
集合 上熊井集落センター駐車場
(鳩山町大字熊井1185-1)
会場 熊井の森
講師 (公財)日本野鳥の会 会長 上田恵介氏
参加費 無料(小学生以下は保護者同伴)
※午後は上田先生の講演会となります。

問い合わせ先
電話 (049-227) 3001
メール kawasemi3001@gmail.com
主催/NPO法人はとやま環境フォーラム

<午前の部> 午前8時半集合、出発9時~11時
熊井の森 生きもの観察会

集合場所は「上熊井集落センター駐車場」お間違えなく！そこから観察会に出発→熊井の森の尾根を歩き、トイレ休憩の場所へ(疲れた人はそこからショートカットで帰れます)→休憩後出発。もう一度、熊井の森に入り、周辺をぐるっと回って、元の駐車場へ。そこで解散。各自昼食を。お弁当持参の方は、車で数分の午後の講演会場(エアコンあり)で昼食をとれます。

観察会の途中で、野鳥が姿を見せたら上田先生に解説していただけます。また植物や昆虫、里山・熊井の森の生態系などについても説明していただきます。乞うご期待。

定員に達し次第締め切りますので、お早めにお申込みを。

<午後の部> 午後1時~3時
公開講座「野鳥と里山」

講演会場は鳩山町泉井「交流体験館」。
お間違えなく！
鳩山ニュータウン在住で、鳥類学者の上田恵介さんに、里山の変遷と減った鳥、増えた鳥の話など、里山の保全・活用を考える上でとても大事な話をしていただけるものと期待しています。



■第1回熊井の森SATOYAMA自然学校公開講座を開校

6月19日(土)、午後1時より、「熊井の森SATOYAMA自然学校 第1回公開講座」を開校しました。講師の金丸弘美氏による演題は「<食>を活かした地域づくり」。全国の地域づくりの実例を紹介しながら、農業と観光のコラボが必要であり、かつ、十分可能であることを具体的に話されました。ただ米を作っただけでは、収入にならない。地元で作るコメの物語(ストーリー)を一緒にして付加価値を付けて販売すれば数倍、数



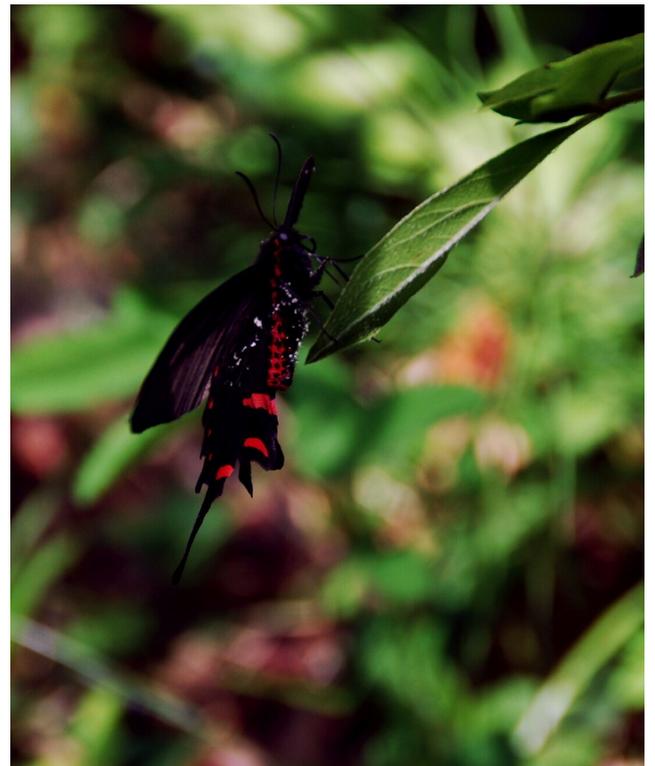
十倍の収入が見込める。たとえば、ホテルの里づくりをすることで、ほたるが棲めるほど環境がいいところをつくったコメであることを具体的にPRできる。消費者自身にもホテルの環境づくりに関わってもらえれば、同じコメでも特別のコメとして多少高くても買っていく。つまり、コメをめぐる”体験と物語”をセットで売れば道は開ける。後は数人ででもまずは始めること。また、埼玉県はイタリアンレストランの店数の多い県だそうで、休耕地にヨーロッパ野菜をつくって供給すれば、1000万円以上の売り上げを期待できるとも話されていました。

自然保護を地に足を付けたものにしていく上で、参考になる様々なアドバイスがあったのではないのでしょうか。

環境フォーラムは、お試して、ハトムギ栽培を始めています。金丸さんは「ハトムギでは収入にならないよなあ」とのこと。ま、それも含めて、まずは自分たちでいろいろやってみようと思います。ご一緒にいかがですか。(はとやま環境フォーラムブログより併録)



▲熊井の森 撮影/写真学校 富田知男



▲熊井の森 撮影/写真学校 草刈元夫



▲熊井の森 撮影/写真学校 嵯峨美千代

第5期第1回(5月9日)熊井の森写真学校には、14人の方が参加されました。それらの作品の一部です。今年10月には「熊井の森生きもの写真展」の開催と「熊井の森」ガイド動画の作成。そして、12月には「2022年度版熊井の森カレンダー」の発行を予定しています。